

## 麻酔科

渋谷博美

麻酔科は、多くの診療科の多岐にわたる手術に対応し、新生児を除く、幅広い年齢層の手術麻酔を年間およそ 3,500 症例施行しています。社会の高齢化に伴い、年々合併症を伴う手術が増加していますが、術前麻酔科外来において、リスクを評価し、他科へのコンサルトや担当診療科とのカンファレンスを行うことで、良質で安全な麻酔が施行できるように努めています。

また、教育面では、医学部の学生によるクリニカルクラークシップを受け入れ、実践現場での知識を得てもらっています。初期研修医には、手技だけでなく、術前評価や手術中の循環管理、術後鎮痛などの周術期管理を研修してもらい、後期研修医に対しては、日本麻酔科学会の専門医育成認定病院として、深い知識と技術が取得できるように、教育しています。

研究面においては、周術期管理に難渋した希少な症例の報告だけでなく、臨床研究も行っています。麻酔法や輸液の種類や量、肺や心エコーによる周術期の病態変化、硬膜外麻酔や抹消神経ブロックによる術後鎮痛効果などについて、retrospective に検証し、質の高い医療ができるよう研究を行っているほか、より安全で快適な麻酔にするための麻酔法についての研究も行い、現場につなげています。

また、麻酔科の関連学会にも積極的に参加し、研究発表だけでなく、多くの新しい情報の取得と現在の知識の再確認をおこなっています。

### 【2016 年度 研究発表業績】

#### B-4

安藝裕子、上田祥弘、松田智明、山本俊介、天野栄三、渋谷博美：当院血管撮影室（アンギオ室）における麻酔科管理全身麻酔下脳血管内手術症例の検討。日本臨床麻酔科学会第 36 回大会、高知、2016 年 11 月 4 日

中西裕貴子、前田晃彦、松田智明、島川宜子、天野栄三、渋谷博美：小児患者の全身麻酔導入時にお気に入り動画視聴による不安度軽減に影響する背景因子の検討。第 63 回日本麻酔科学会年次学術集会、福岡、2016 年 5 月 26 日

和田愛子、草野真悠子、春原真理、石井裕子、前田晃彦、渋谷博美：炭水化物含有経口補水液の術前投与による周術期経過改善効果：腹腔鏡下大腸切除術施行患者での後方視的比較検討。第 63 回日本麻酔科学会年次学術集会、福岡、2016 年 5 月 26 日

#### B-6

和田愛子、前田晃彦、草野真悠子、伊藤千明、島川宜子、渋谷博美：全身麻酔維持薬の選択が腹腔鏡下大腸切除術の術中循環動態と術後経過に与える影響：吸入麻酔、全静脈麻酔、セボフルラン・プロポフォール併用麻酔の比較検討。第 62 回日本麻酔科学会関西支部学術集会、大阪、2016 年 9 月 3 日